



仙台塩釜港復興だより 第25号

- 港湾は人の心も結んでいます -

災害復旧事業の進捗状況

仙台塩釜港湾事務所では、現在仙台塩釜港（仙台港区、塩釜港区、松島港区）において、東日本大震災で被災した公共土木施設の災害復旧工事を進めています。令和元年9月末現在の災害復旧事業の進捗状況は、箇所ベースで185箇所全ての工事に着手済みで165箇所(約89%)が完了となっています。

このうち、港湾施設については、仙台港区は平成28年度末、松島港区は平成30年8月末までに全てが完了、塩釜港区は76箇所のうち71箇所(約93%)の施設が完了しています。

一方、海岸保全施設（防潮堤）については、仙台港区は平成29年度末、松島港区は平成30年10月末までに完了、塩釜港区は55箇所のうち18箇所(約33%)の施設が完了しています。

残るは塩釜港区のみであり、引き続き施設の1日も早い復旧を目指し取り組んでまいります。

◎箇所数ベース(令和元年9月末)

(単位:箇所)

施設別	事業箇所数			箇所ベース	
	全体	着手済	うち完了	着手率(%)	完了率(%)
港湾施設	130	130	125	100	96
海岸保全施設	45	45	30	100	67
公園・緑地等	10	10	10	100	100
合計	185	185	165	100	89

◎事業費ベース(令和元年9月末)

(単位:億円)

施設別	事業費			金額ベース	
	全体	着手済	うち完了	着手率(%)	完了率(%)
港湾施設	188	188	183	100	97
海岸保全施設	161	161	108	100	67
公園・緑地等	8	8	8	100	100
合計	357	357	299	100	84

※事業費は平成31年災害再調査額含み

○仙台港区

◎箇所数ベース(令和元年9月末)

災害復旧事業の進捗状況(仙台港区)			
進捗状況	・港湾施設災:37件(完了)	・海岸施設災:3件(完了)	・環境関連災:9件(完了)



高砂船溜り物揚場



向洋ふ頭東防波護岸



北航路西C護岸



南防波護岸

○塩釜港区

◎箇所数ベース(令和元年9月末)

災害復旧事業の進捗状況(塩釜港区)				
進捗 状況	・港湾施設災: 76件 着手: 76箇所, 完了: 71箇所 (100%) (93%)		・海岸施設災: 33件 着手: 33箇所, 完了: 18箇所 (100%) (55%)	
	・環境関連災: 1件(完了)			



着手前



施工中

貞山通 (A) 胸壁外災害復旧工事(塩竈市貞山通三丁目)



着手前



施工中

要害浦胸壁(陸間)災害復旧外工事(七ヶ浜町東宮浜要害)



着手前



完成

西ふ頭観光さん橋外災害復旧工事(塩竈市港町一丁目)



着手前



完成

吉田花淵浜防潮堤(陸間)災害復旧外工事(宮城郡七ヶ浜町花淵浜館下)



着手前



施工中

代ヶ崎船たまり (A) 防潮堤外災害復旧工事(七ヶ浜町八ヶ森)



着手前



施工中

東宮浜胸壁(陸間)災害復旧外工事(宮城郡七ヶ浜町東宮浜笠岩)

○松島港区

◎箇所数ベース(令和元年9月末)

災害復旧事業の進捗状況(松島港区)	
進捗 状況	・港湾施設災: 17件(完了) ・海岸施設災: 9件(完了)



松島陸間



松島棧橋



浪打浜 (A) 護岸



仙随胸壁



海岸通り胸壁



海岸通り護岸



海岸通り船着場

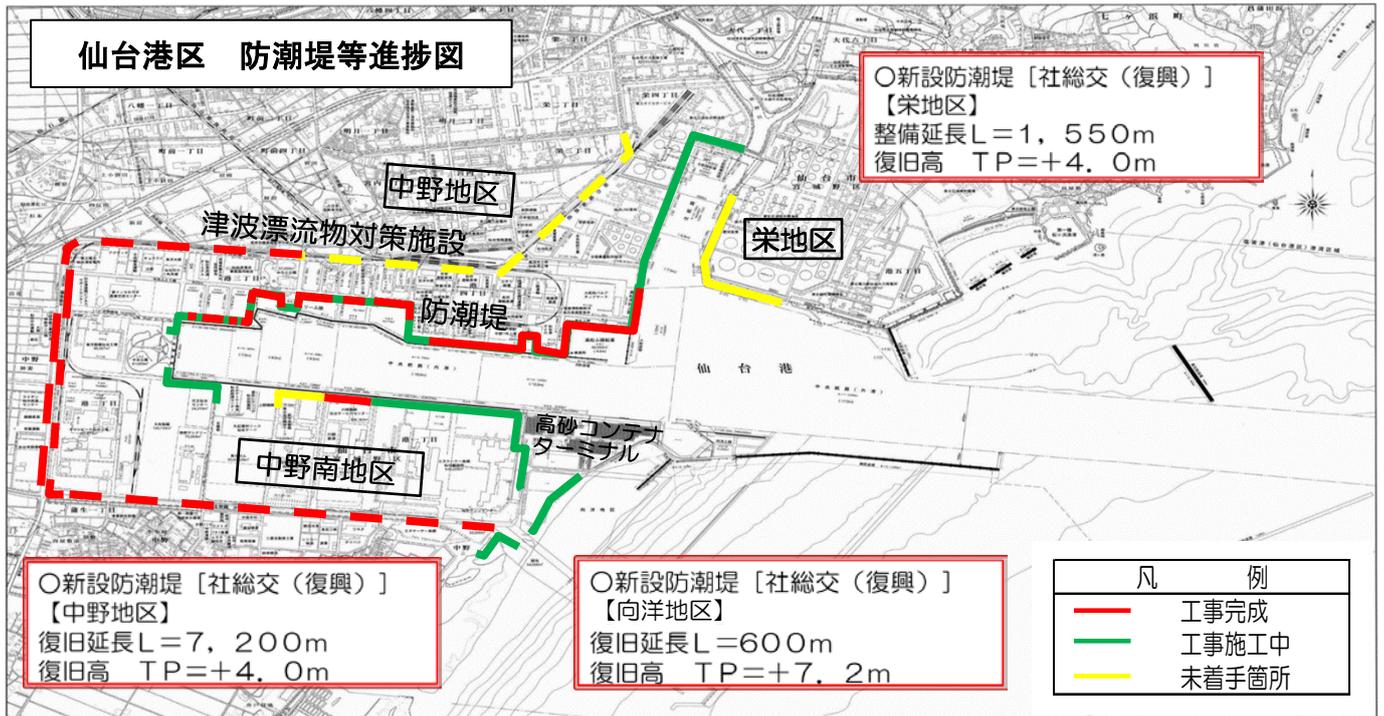


東浜 (A) 船揚場

復興事業（新規防潮堤整備等）の進捗状況

当事務所では、災害復旧事業と併せて、復興事業として新たな防潮堤の整備を進めています。また、仙台港区では、津波で流される港湾内貨物などの漂流物を対象に、臨港地区内から住宅地などへの流出を防止するため、港周辺の臨港道路に津波漂流物対策施設設置工事を実施しています。

このうち仙台港区では、中野地区・中野南地区で防潮堤の整備を進めているほか、今年は新たに栄東地区の工事着手に向け準備を進めています。また、津波漂流物対策施設については、中野幹線、蒲生幹線が完了し、今年度は中央幹線と北幹線の整備を図ってまいります。塩釜港区では、中ふ頭、貞山ふ頭や北浜地区、及び浦戸諸島の桂島や寒風沢島等において、防潮堤や水門整備の推進を図ってまいります。



◎延長ベース(令和元年9月末)

港区	施設	全体	進捗状況			着手率(%)	完了率(%)
			着手済	完了	未着手		
港区全体	防潮堤(km)	14.4	11.1 (11.1)	5.1 (5.1)	3.3 (5.6)	77 (77)	35 (35)
	漂流物対策施設(km)	5.1	3.6 (3.6)	3.6 (3.6)	1.5 (1.5)	71 (71)	71 (71)
仙台港区	防潮堤(km)	9.2	5.9 (5.9)	2.1 (2.1)	3.3 (5.6)	64 (64)	23 (23)
	漂流物対策施設(km)	5.1	3.6 (3.6)	3.6 (3.6)	1.5 (1.5)	71 (71)	71 (71)
塩釜港区	防潮堤(km)	5.1	5.1 (5.1)	2.9 (2.9)	—	100 (100)	57 (57)
松島港区	防潮堤(km)	0.1	0.1 (0.1)	0.1 (0.1)	—	100 (100)	100 (100)

※()内は平成31年3月末

仙台港区高砂コンテナターミナル拡張事業の進捗状況

4年連続最高記録を更新!!
H30(速報値):278,000TEU
 (対前年比106%)

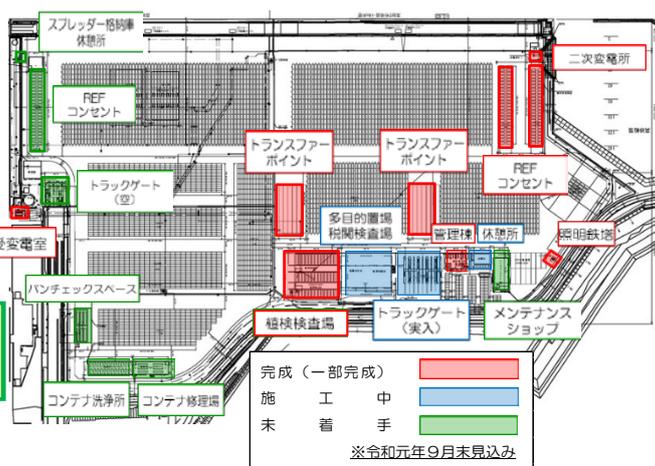
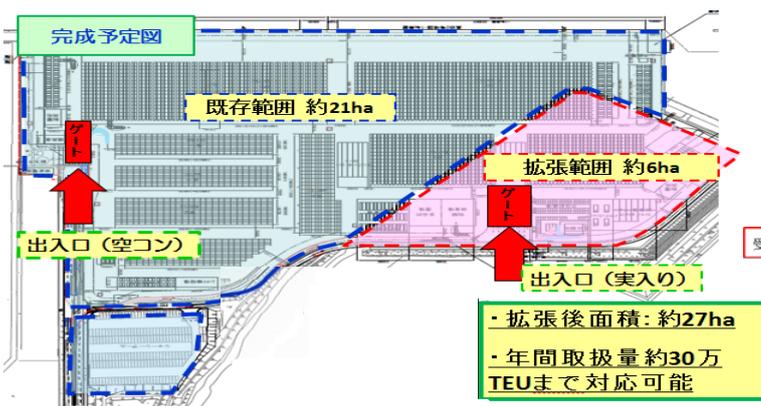


高砂コンテナターミナルの平成30年のコンテナ取扱貨物量は27万8千TEU(※)を記録し、平成23年3月の東日本大震災の影響等で取扱量は減少したものの、翌年からは順調に回復し4年連続で過去最高を更新しました。

※「TEU」:長さ20フィートコンテナ1本を1TEUとしてカウント。40フィートコンテナは2TEUとなる。コンテナ取扱量の単位 (Twenty-foot EquivalentUnit)。



一方、コンテナ取扱量の増加に伴い、コンテナヤード内の狭隘化や、ゲート待ちのセミトレーラで臨港道路が渋滞するなどの問題も発生しております。これらに対応するため、現在高砂コンテナターミナルの拡張工事(約21ha→約27ha)を進めています。



令和元年9月末時点でのコンテナターミナルの進捗状況は、事業費ベースで約75%となっております。現在、トラックゲートや多目的置場、植検検査場の工事を進めるなど、令和2年4月の供用(暫定)に向け事業の進捗を図っています。



管理棟新築工事(完成)



植検検査場(一部完成)



多目的置場・トラックゲート(施工中)

客船「セブンシーズ・マリナー」が寄港

客船「セブンシーズ・マリナー」(総トン数48,075トン、全長216.0m)が4月29日(月)に仙台塩釜港仙台港区(高松ふ頭)に寄港し、約700人の乗客の皆様をお迎えしました。

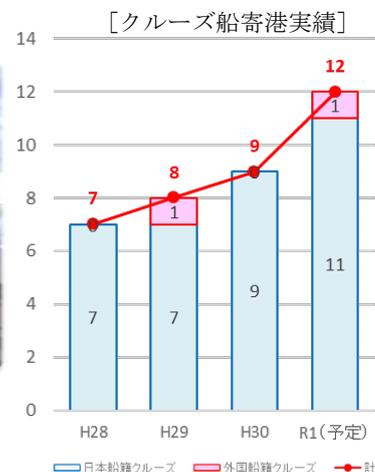
当日は、「せんだい杜の都親善大使」や「伊達武将隊」も駆けつけ船内において歓迎セレモニーが行われました。



「セブンシーズ・マリナー」



歓迎セレモニーの様子



《仙台港区へのクルーズ船入港予定》

令和元年10月以降の入港予定は以下のとおりです。

なお、天候や運行スケジュールなどの事情により変更になることがあるのでご了承願います。

月 日	入港時間	出航時間	船 名	ふ 頭 名
10月4日(金)	8時00分	17時00分	飛鳥Ⅱ	高松2号ふ頭
11月5日(火)	8時00分	16時00分	ぱしふいっくびいなす	高松2号ふ頭
3月25日(水)	7時00分	11時30分		高松2号ふ頭
3月30日(月)	17時00分	(31日)14時00分		高松2号ふ頭

オイルフェンス展張作業の実施

6月11日(火)に仙台塩釜港において、職員によるオイルフェンス展張作業訓練を実施しました。

今回の訓練では、仙台塩釜港で油が流出したという想定のもと、県監督船「はじま」を用いオイルフェンスの運搬から展張までの一連作業を仙台港区と塩釜港区で行い、油流出が発生した場合に迅速かつ的確に対応できるよう手順の確認を実施しました。

なお、10月11日(金)に仙台塩釜港の「港湾区域内における海上等への流出油事故対応要領」に基づき、停泊中の船舶より燃料が流出し沖合に拡散する恐れがあるという想定で、港湾関係及び漁協関係者等への情報伝達訓練と、オイルフェンス展張作業や油攪拌作業、放水作業などを行う予定となっています。



オイルフェンス接続状況



オイルフェンス接続完了



監督船「はじま」による展張作業



オイルフェンス展張完了

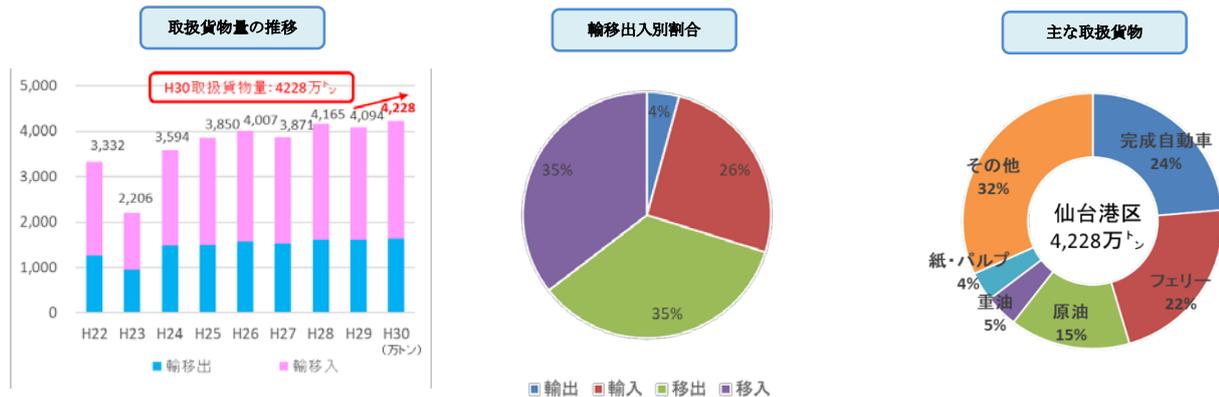
港湾取扱貨物量（平成30（2018）年分）

【仙台港区】

○平成30年取扱貨物量(速報値)は、原油、化学薬品、完成自動車などが増えたことに伴い対前年比134万トン(3%)増の4,228万トンとなっております。

○輸移出入別では、輸入(26%)、輸出(4%)、移入(35%)、移出(35%)となっており、これまでと同様に海外へ輸出する貨物が極端に少ない状況です。

○品目別では、完成自動車、フェリー貨物、原油、重油、紙・パルプが上位5品目となっています。

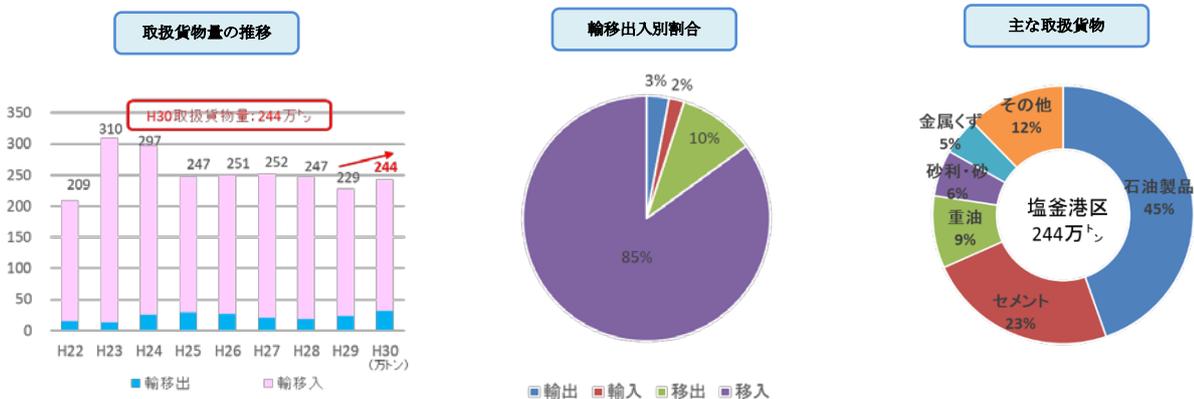


【塩釜港区】

○平成30年取扱貨物量(速報値)は、砂利・砂、石油製品などが増えたことに伴い対前年比15万トン(6%)増の244万トンとなっております。

○輸移出入別では、輸入(2%)、輸出(3%)、移入(85%)、移出(10%)となっており、9割以上が国内貨物で占めています。

○品目別では、石油製品、セメント、重油、砂・砂利、金属くずが上位5品目となっています。



編集事務局

宮城県仙台塩釜港湾事務所 企画担当チーム

〒983-0001 仙台市宮城野区港三丁目1-3 仙台港国際ビジネスサポートセンター5階

TEL : 022-254-3131 FAX : 022-254-3136

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgkown E-mail : sdsgkown@pref.miyagi.lg.jp